



令和 7 年度 桂雪会 総会資料



令和7年4月22日（火） 台湾の高校生との交流会

日 時 令和7年6月1日（日）14：00～
会 場 ホテル ほていや

飯山高等学校桂雪会

令和7年度 桂 雪 会 総 会 次 第

令和7年6月1日（日）14：00～ 於 ホテル ほていや

進 行 桂雪会事務局

I 桂雪会総会 14：00～

1. 物故者への黙とう

2. 開会の辞 副会長

3. 会長挨拶 宮本会長

4. 学校長挨拶 金井校長

5. 来賓ご挨拶

6. 議長選出

7. 議 事

(1) 第1号議案 令和7年度 役員体制変更の承認

(2) 第2号議案 令和6年度桂雪会事業報告

(3) 第3号議案 令和6年度会計決算報告・合宿所改修工事収支報告及び監査報告

(4) 第4号議案 令和7年度事業計画（案）

(5) 第5号議案 令和7年度会計予算（案）

(6) 第6号議案 「飯山高校の発展を願う研究会」の設置について

(7) その他

・50歳のホームカミングデーの開催と総会の同日開催について

・

8. 閉会の辞 副会長

II 講演会 15：20～

講師 飯山高校長 金井 繁昭 および 自然科学部の生徒

演題 「課題研究『光合成のできる MBR の開発』世界1位の道のりと飯山高校の可能性」

III 懇親会 16：30～

第1号議案 令和7年度桂雪会役員体制（変更案）

職 名	氏 名
顧 問	岩崎 彌
顧 問	猪瀬 清徳
顧 問	(森 司朗)
顧 問	関 保典
顧 問	米澤 修一
顧 問	金井 繁昭
会 長	宮本 衡司
副会長	高橋 彰
副会長	上海 一徳
副会長	湯本 直木
副会長	小嶋 日出子
副会長	村石 桂太郎
監 事	石田 一彦
監 事	箕口 徳夫

ご逝去

内山英樹
氏 退任

幹事長	小橋 浩樹
副幹事長	山崎 美典
副幹事長	大塚 正
副幹事長	
幹 事	新家 智裕
幹 事	小田切 昇
幹 事	藤巻 篤
幹 事	岡田 敬幸
幹 事	川久保 直市
幹 事	吉越 利明
幹 事	小山 巧
幹 事	島田 和彦
幹 事	澤木 伸一
幹 事	宮澤 良裕
幹 事	湯本 武利

村石桂太郎
氏 副会長に

空席

野沢温泉	支部長	平田 幸男
	副支部長	市川 公紀
栄支部	支部長	森川 博
	副支部長	
長野支部	支部長	武田 芳彦
	副支部長	瀧澤 国夫
須高支部	支部長	小林 守夫
	副支部長	大熊 文久
豊野支部	支部長	米木 善登
	副支部長	原田 茂
中野支部	支部長	小林 尚人
	副支部長	
豊田支部	支部長	吉岡 典高
	副支部長	小橋 浩樹
津南支部	支部長	島田 哲宏
	副支部長	
県外(5)		
東京関東 支部	支部長	阿部 靖典
	副支部長	高橋 彰
	副支部長	山城 弘枝
	会 計	藤好しのぶ

富井裕昭
氏退任

飯山支部	支部長	上松 永林
	副支部長	横川 莊一
	副支部長	村石桂太郎
	副支部長	島田 和彦
秋津支部	支部長	石澤 一芳
	副支部長	丸山 朗
木島支部	支部長	湯本 武利
	副支部長	澤木 伸一
瑞穂支部	支部長	増山 保範
	副支部長	岩松 義雄
柳原支部	支部長	佐藤 正夫
	副支部長	木幡喜美子
外様支部	支部長	春日 早夫
	副支部長	春日 隆
常盤支部	支部長	平野 弘蔵
	副支部長	
太田支部	支部長	青木 彰
	副支部長	庚 繁樹
岡山支部	支部長	井沢 清一
	副支部長	田中 康一
木島平支 部	支部長	湯本 直木
	副支部長	瀧澤 俊實

第2号議案 令和6年度 桂雪会 事業報告

1 総会 役員会 等

総会 5月 26日（日）16:00～ ホテルほていや

2 学校が主催する卒業式、職員送別会、飯高祭、授業公開等に参加。

学校評議員会には上海副会長が出席

3 桂雪会報の発行

- ・第8号 令和7年2月に発行
- ・役員、支部長、生徒・教職員に配布し、HPに掲載する

4 教育支援事業の実施

- ・桂雪アカデミー・・・P T Aから50万円、桂雪会から30万円を拠出し実施
- ・スクールバス事業・・・バス会社の事情により本年度は運行できず。来年度事項は運行予定
- ・マイクロバス事業・・・クラブ活動などで利用
- ・学業・クラブ活動支援・・・クラブ外部指導者の謝礼(卓球・ソフトテニス・野球部等)・懸垂幕の作成等・世界大会出場者への激励金
- ・信毎データベース費用支援
- ・卒業記念品(証書入れ)、入学生に校章バッジの贈呈

5 教育環境整備事業の実施

- ・情報機器支援(PC4台のレンタル代等)
- ・生徒指導助成(宿舍管理等)

6 長野県飯山高等学校120周年記念事業実行委員会による記念事業の実施

- ・合宿所の改修・・・改修収支報告を参照

7月より工事をはじめ10月下旬引き渡しとなった。

通称「桂雪会館」として会議室、桂雪アカデミー(学習室)、文化系クラブの活動等に利用する。

名称看板、篤志寄附者芳名板、部屋名プレートを設置した。

7 その他

- ・桂雪会名簿改訂版(令和7年1月版)の発行・・・5年に1度の改訂版
- ・甲子園出場実行委員会の事業検討と活動への協力
- ・桂雪会ホームページの管理運営

1 総括

収入決算額	6,869,598 円
支出決算額	3,946,955 円
差引残額	2,922,643 円

2 収入

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正額	現計予算額 (A)	収入済額 (B)	増 減 (A)-(B)	説 明
1 繰越金	1,627,476	0	1,627,476	1,627,476	0	前年度繰越金
2 繰入金	0	0	0	0	0	
3 入会金	316,000	0	316,000	314,000	△ 2,000	新入生2,000×157名
4 会 費	4,940,000	0	4,940,000	4,880,000	△ 60,000	10,000×488名(1年157名、2年163名、3年168名)転退学返金(60,000円)
5 諸収入	24	0	24	48,122	48,098	預金利息、名簿、校歌CD代等
合 計	6,883,500	0	6,883,500	6,869,598	△ 13,902	

3 支出

(単位:円)

科 目	当初予算額	流用額	現計予算額 (A)	支出済額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
1 事務費	360,000	7,000	367,000	234,973	132,027	
会議費	100,000	0	100,000	55,305	44,695	
旅 費	50,000	0	50,000	33,220	16,780	総会役員会等旅費
消耗品費	30,000	0	30,000	14,160	15,840	
通信費	100,000	0	100,000	46,288	53,712	総会案内送付、新聞掲載料、会報送付
慶弔費	80,000	7,000	87,000	86,000	1,000	香典、転退職職員饗別代
2 本会事業費	700,000	0	700,000	324,910	375,090	
会報発行費	300,000	0	300,000	77,550	222,450	会報印刷代、会報作成補助
記念品費	300,000	0	300,000	216,480	83,520	証書ホルダー、校章バッジ代
山林管理費	0	0	0	0	0	
その他事業費	100,000	0	100,000	30,880	69,120	東京関東支部総会補助
3 教育支援費	4,300,000	0	4,300,000	1,887,072	2,412,928	
情報処理費	300,000	0	300,000	237,710	62,290	信毎データベース使用料 22,000円 パソコンリース料 215,710円
施設整備費	300,000	0	300,000	133,221	166,779	桂雪会館看板、室名札、寄付者御芳名 パネル
教育補助費	2,700,000	△ 43,156	2,656,844	766,163	1,890,681	桂雪アカデミー事業補助 300,000円、懸垂 幕作製費、SSHフェスティバル、祝賀バレー 用旗他(スクールバス支出無)
生徒助成費	500,000	0	500,000	206,822	293,178	世界大会出場激励金(台湾国際科学 フェア、スキージュニア世界選手権)、クラブ 外部コーチ謝礼
宿舎管理費	500,000	43,156	543,156	543,156	0	寄宿舎管理費
4 繰出金	1,100,000	0	1,500,000	1,500,000	0	
教育基金	600,000	400,000	1,000,000	1,000,000	0	教育基金積立て
マイクロバス会計	500,000	0	500,000	500,000	0	特別会計 桂雪会マイクロバス会計へ
5 予備費	423,500	△ 407,000	16,500	0	16,500	
合 計	6,883,500	0	7,911,200	3,946,955	3,964,245	

※各科目間の流用は、必要に応じて会長が承認できるものとする。

備考1 預金通帳

金融機関名	名 義	種 別	残 高
八十二銀行 飯山支店	桂雪会	普通	2,916,420
JAバンク 飯山支所	桂雪会	普通	6,223
計			2,922,643

令和6年度 特別会計 教育基金決算

1 総 括

収入総額 1,000,026 円
支出総額 1,000,026 円
差引残額 0 円

2 収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	差引 (B)-(A)	説 明
繰 入 金	1,000,000	1,000,000	-	一般会計から繰入
諸 収 入	35	26	△ 9	利息
合 計	1,000,035	1,000,026	△ 9	

3 支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A)-(B)	説 明
積 立 金	1,000,035	1,000,026	9	定期預金
合 計	1,000,035	1,000,026	9	

資産(定期預金)

(単位:円)

金融機関名	名 義	預金種別	残 高	説 明
八十二銀行飯山支店	桂雪会	定期預金	2,500,599	定期積立

令和6年度 特別会計 桂雪会マイクロバス会計決算書

1 総 括

収入総額 1,747,583 円
支出総額 804,075 円
差引残額 943,508 円

2 収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	差引 (B)-(A)	説 明
繰 越 金	803,346	803,346	0	前年度繰越金
繰 入 金	500,000	500,000	0	一般会計から繰り入れ
マイクロバス使用料	650,000	444,000	△ 206,000	運動部
諸 収 入	4	237	233	預金利息1円
合 計	1,953,350	1,747,583	△ 205,767	

3 支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	差引 (B)-(A)	説 明
事 務 費	15,000	6,000	9,000	安全運転管理者講習
維持管理費	1,300,000	712,965	587,035	車検整備費、修理費、 タイヤ代
自動車税・保険料	150,000	85,110	64,890	
借入金返済金	-	-		
予 備 費	488,350	-	488,350	
合 計	1,953,350	804,075	1,149,275	

合宿所改修に係る収支決算報告書

2024/12/17

1 収入

口座等	金額（円）	備考
J A 管理口座	13,182,854	○寄付額一手数料 12,181,835
		○利息 1,019
		○5市町村負担金 1,000,000
桂雪会飯山高校支援金	2,827,502	J A 口座にまとめるための振込手数料880円を控除済
飯山市補助金（完了後）	1,000,000	飯山市補助金
八十二管理口座	1,124,692	J A 口座にまとめるための振込手数料880円を控除済
甲子園出場実行委員会	7,495,492	甲子園予備費より（振込手数料880円控除済）
合計	25,630,540	(A)

2 支出

項目	金額（円）	備考
改修工事費用（当初）	23,000,000	
追加工事（北側軒下補強）	1,804,000	
監理設計費用	825,000	
振込手数料	1,540	監理880、工事330×2
合計	25,630,540	(B)

3 過不足

(A)-(B)	0	
---------	---	--

【6】

第 4 号議案 令和 7 年度 桂雪会 事業計画（案）

1 総 会 役員会 等

第1回役員会 4月28日(月) 18:00～ 桂雪会館 鍋倉

総 会 6月 1日（日）14:00～ ホテルほていや

2 学校が主催する入学式・卒業式、職員歓迎会・送別会、学校評議員会等に参加。

会長が出席・・・挨拶を行う

学校評議員会・・・上海副会長が出席

3 桂雪会報の発行

・第 9 号 令和 8 年 2 月に発行

・役員、支部長、生徒・教職員に配布し、HPに掲載する

4 教育支援事業の実施

・桂雪アカデミー・・・P T Aから4 0 万円、桂雪会から4 0 万円を拠出し実施

・スクールバス事業・・・長野交通に委託して運行。（今年度は運行予定）

・マイクロバス事業・・・クラブ活動などで利用

・学業・クラブ活動支援・・・クラブ外部指導者の謝礼(卓球・ソフトテニス・野球部等)・懸垂幕
の作成等・世界大会出場者への激励金

・信毎データベース費用支援

・卒業記念品(証書入れ)、入学生に校章バッジの贈呈

5 教育環境整備事業の実施

・情報機器支援(桂雪会用の PC 購入、WEB サイトの運営等)

・生徒指導助成（宿舎運営等）

6 その他

・飯山高校活性化のための様々な支援・・・「飯山高校の発展を願う研究会」の発足

・ホームカミングデーと総会の同時開催による総会への出席者増加策の試み

・甲子園出場実行委員会の事業検討と活動への協力

・桂雪会ホームページの管理運営

第5号議案 令和7年度長野県飯山高等学校桂雪会予算書（案）

1 総括

収入予算額	8,858,700 円
支出予算額	8,858,700 円

2 収入

（単位：円）

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
1 繰越金	2,922,643	1,627,476	1,295,167	前年度繰越金
2 繰入金	1,152,000	0	1,152,000	寮費会計より繰入（調理補助員人件費分）
3 入会金	264,000	316,000	△ 52,000	新入生2,000×132名
4 会 費	4,520,000	4,940,000	△ 420,000	10,000×452名（1年132名 2年157名 3年163名）
5 諸収入	57	24	33	預金利息
合 計	8,858,700	6,883,500	1,975,200	

3 支出

（単位：円）

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
1 事務費	360,000	360,000	0	
会議費	100,000	100,000	0	総会・代議員会、役員会等の経費
旅 費	50,000	50,000	0	総会・代議員会、役員会等の交通費
消耗品費	30,000	30,000	0	事務用品等
通信費	100,000	100,000	0	郵送代等
慶弔費	80,000	80,000	0	慶弔、祝儀、職員饗別等
2 本会事業費	700,000	700,000	0	
会報発行費	300,000	300,000	0	会報の印刷、会報作成補助
記念品費	300,000	300,000	0	卒業記念品、校章バッジ等
山林管理費	0	0	0	
その他事業費	100,000	100,000	0	支部総会助成事業
3 教育支援費	5,875,000	4,300,000	1,575,000	
情報処理費	300,000	300,000	0	信毎データベースの助成・PC購入費等
施設整備費	300,000	300,000	0	
教育補助費	3,580,000	2,700,000	880,000	桂雪アカデミー事業 400,000円 スクールバス事業 1,900,000円 他
生徒助成費	500,000	500,000	0	生徒指導助成 200,000円 クラブ活動助成 200,000円 他
宿舍管理費	1,195,000	500,000	695,000	寄宿舍管理費（4月） 43,000円 寄宿舍調理補助員 1,152,000円
4 繰出金	1,500,000	1,100,000	400,000	
教育基金	1,000,000	600,000	400,000	特別会計 教育基金へ
マイクロバス会計	500,000	500,000	0	特別会計 桂雪会マイクロバス会計へ
5 予備費	423,700	423,500	200	
合 計	8,858,700	6,883,500	1,975,200	

※各科目間の流用は、必要に応じて会長が承認できるものとする。

令和7年度 特別会計 教育基金予算書 (案)

1 総括

収入予算額 1,000,050 円
支出予算額 1,000,050 円

2 収入

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
繰入金	1,000,000	600,000	400,000	一般会計から繰入
諸収入	50	35	15	定期預金利息
合計	1,000,050	600,035	400,015	

3 支出

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
積立金	1,000,050	600,035	400,015	定期預金
合計	1,000,050	600,035	400,015	

資産(定期預金)令和7年3月現在

(単位:円)

金融機関名	名義	預金種別	残高	説明
八十二銀行飯山支店	桂雪会	定期預金	2,500,599	定期積立

令和7年度 特別会計 桂雪会マイクロバス会計予算書 (案)

1 総括

収入予算額 1,943,512 円
支出予算額 1,943,512 円

2 収入

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
繰越金	943,508	803,346	140,162	前年度繰越金
繰入金	500,000	500,000	0	一般会計から繰入
マイクロバス使用料	500,000	650,000	△ 150,000	運動部
諸収入	4	4	0	預金利息
合計	1,943,512	1,953,350	△ 9,838	

3 支出

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
事務費	15,000	15,000	0	安全運転管理者講習
維持管理費	1,300,000	1,300,000	0	車検整備・整備費・タイヤ等
自動車税・保険料	220,000	150,000	70,000	名義変更による新規契約
予備費	408,512	488,350	△ 79,838	
合計	1,943,512	1,953,350	△ 9,838	

第6号議案 「飯山高校の発展を願う研究会」設立の提案

I 提案理由

昨年度、旧1区の人口減少による中学生の卒業生数が200人を割り、飯山高校の募集定数を160名（探究2学級・普通1学級・スポ1学級）に減じたものの今年度の入学者は132名（28名の不足）でした。下高井農林も80名募集のところ38名の入学であり、近年、両校で定員割れが続いています。生徒の様子は、全体的に落ち着きあいさつなどさわやかで好印象ですが、学力や進路状況、特別支援を要する生徒など徐々に変化はみられます。

母校である飯山高校の発展を願う桂雪会として、現状を変えていく為の行動を起こす必要があると考えました。そこで、「飯山高校の発展を願う研究会」を発足し、大きく以下の点について研究を進め、飯山高校の発展に必要と考えることを関係機関に提言をし、直近の生徒募集に関しても積極的な働きかけを行うことを提案します。

- (1) 1区の高校の在り方として飯山高校5学級・下高井農林1学級の可能性
- (2) 飯山高校の入学者を5学級の定員200名に近づける方策
- (3) 飯山高校をより魅力ある学校にし、発展させていく方策

このような研究を進めるにあたっては、母校をはじめ、この地域の教育を支えている様々な方々から、現在の状況や、率直な思いや願い、意見などをお聞きし、今後の教育の在り方を虚心坦懐に粘り強く考えていくことが必要と考えます。短期的な課題と長期的な課題の両方の視点を踏まえつつ、成果につながる研究会の活動にしたいと考えます。

II 現状の課題

1 国・県の高校教育の潮流

- (1) 私学授業料無償化
- (2) 公立高校併願への動き
- (3) 県教委は各高校に74万円の特色ある教育への予算
- (4) 全国募集の高校に1000万の予算
- (5) 高校再編基準見直し（8月に公表）による旧1区の扱い。地元の支援・協力が新基準による統廃合の決定に重要とも。

2 旧1区の現状

- (1) 1区（岳北4市村）の人口減少→中学校卒業生数の減少
- (2) 区外への流出や私立校への進学、定時制や通信制（広域通信含め）への進学→飯山高校の定員割れ続く
- (3) R7年度、飯山高校は普通科2学級を1学級に減をしたので、4学級（探2・普1・スポ1）、下高井農林高校は2学級募集。両校とも定員割れ。飯山高校は普37人、探32・32人、スポ31人計132人、農林は38人 →1区の高校の在り方（57%の残留率）

3 飯山高校の直面する課題

- (1) 定員割れ問題
- (2) 生徒の学力層の変化
- (3) 特別支援を要する生徒の増加
- (4) 進路状況の変化
- (5) 外部評価の変化
- (6) 課題研究で成果を上げているが（これが大変なので飯山高校を避ける？）
- (7) 生徒数減少によるクラブ活動の停滞

- (8) 生徒減少による生徒会費、PTA 会費、同窓会費の減少
- (9) 少人数学級で全体的には落ち着いて良い雰囲気ではあるが・・・
- (10) スキー競技での活躍や陸上競技の活躍もあるが・・・

Ⅲ 組織

1 名称 「飯山高校の発展を願う研究会」

2 研究会の編成(案)・・・桂雪会に属する研究会とする

研究会長	上海 一徳	顧問	宮本 衡司 米澤 修一
副研究会長	村石 桂太郎		
〃	渡辺 藤夫	相談役	金井 繁昭 校長
研究会員	小橋 浩樹		
	大塚 正	有識者	長瀬 哲 他
	小田切 昇		
	宮澤 良裕		
	(山崎 芳弘)		
	石澤 一芳		
	山崎 皓 (SSH 担当)		
事務局	渡邊 智		
	渡辺 藤夫		
	丸山 大樹		

Ⅳ 研究会で可能な活動例・・・研究内容についてはこれから検討していく

- (1) 学校、地元との連携協力 ＝ 学校の現状を先生方から教えていただく、地域の関係者から学ぶ（教育長・中学校長、事業者、移住・人口増担当者等との懇談）、ともに進む会員は、母校の直近の経緯（統合、探究科、SSH など）や現在を理解して正確な言葉を共有することが必要
- (2) 1 区の高校の在り方の検討と申言 ― 4 市村関係者による研究会・検討委員会の立ち上げと参加。特に飯山市との連携は重要。
- (3) 飯山高校の魅力化の検討と申言：進路実績やクラブ活動、生徒・保護者目線の充実化
- (4) 地元中学生や保護者の意識の実態把握
- (5) 飯山高校志願者を増やす活動
 - ア 1 区対象 イ 区外対象 ウ WEB、SNS の利用
 - エ 4 市村広報紙、地域新聞の協力
 - オ 桂雪アカデミー、会館の有効活用（中学生向けの学習、保護者向けの講演など）
 - カ 教育基金の設立：基金から学校に加配教員雇用（県との協定で可能）、奨学金、など
 - キ その他
 - 姉妹都市などからの山村留学（飯山の四季が育ての親）、SSH 高との連携、地場産業との連携、下高井農林との授業連携、など
- (6) 地元等就職希望を実現するための、事業所・学校のつなぎ役（高校卒業後、大学等卒業後、転職時など）